

授業科目            病理学 I

【担当教員名】  池上 喜久夫		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：G10】 ・人が疾病に至る理屈を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 病気によって体に現れる一般的变化を、系統的に概説することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	細胞傷害と細胞増殖			1	講義、担当：池上 喜久夫
2	組織・細胞の修復と再生			1	講義、担当：池上 喜久夫
3	循環障害			1	講義、担当：池上 喜久夫
4	炎症			1	講義、担当：池上 喜久夫
5	代謝異常			1	講義、担当：池上 喜久夫
6	代謝異常			1	講義、担当：池上 喜久夫
7	腫瘍			1	講義、担当：池上 喜久夫
8	腫瘍			1	講義、担当：池上 喜久夫
9	腫瘍			1	講義、担当：池上 喜久夫
10	細胞診総論			1	講義、担当：池上 喜久夫
11	感染症			1	講義、担当：池上 喜久夫
12	免疫機構の異常			1	講義、担当：池上 喜久夫 他
13	免疫機構の異常			1	講義、担当：池上 喜久夫 他
14	遺伝の先天異常			1	講義、担当：池上 喜久夫
15	老化			1	講義、担当：池上 喜久夫
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シンプル病理学	笹岡公伸	南江堂	2,900 円＋税
参考書		解明病理学	青野克之	医歯薬出版	15,000 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 ・小テスト 30% (講義内に5回行う) ・定期試験 70%			【履修上の留意点】 講義は教科書を中心に行う。新しい言葉が沢山出てきますのでしっかりと復習をして、知識を確実に身に付けて下さい。 参考書は、図書館に配備してありますので活用して下さい。		